

ハイデック卒業企業から皆様へ

2018年2月1日

わたくしどもナード研究所は、化学分野の受託研究、受託合成をしている企業です。

尼崎市の本社が手狭になったため、2007年にライフサイエンス研究部の一部とコーポレート研究部をハイデックに移しました。

移転に際しては、他の候補地も探しましたが今では、ハイデックを選んで良かったと感じています。

ハイデックの特徴としてはインキュベーションマネージャー（IM）が常駐していることです。

当初はIMの価値を理解していなくて「コスト高になるだけではないか。」と考えていました。しかし、IM室の方々には神戸市、先端医療振興財団などとも連携してきめ細やかなサポートをして頂きました。

移転に際しての環境整備、展示会出展の支援、研究に関する情報提供、人材紹介、近隣の大学との連携の橋渡し、クラスター内の企業や団体との交流の場づくりなど数えきれないくらいです。

私たちは、ハイデックにて新規事業の種を見つけ、発展させることが出来ました。そこでこの地域にてさらにライフサイエンスビジネスを展開していくことを決心し、ハイデックの近隣に神戸研究所を建設致しました。

ライフサイエンスに関わる部門を集約してこの1月から活動を始めています。今後はクラスター内の皆様と連携して、この地域の発展に貢献していきたいと思えます。

ところで皆様が賃貸施設を検討する場合、何を判断基準に置かれるでしょうか。ロケーションや設備状況などは当然でしょうが、前述しましたが、私はソフト面が充実しているかということもぜひ加えて頂きたいと思えます。

ハイデックから多くの卒業企業が出て、そしてこの地域で連携していけることを心から願っています。

株式会社ナード研究所 代表取締役社長 北庄司 健氏

